

ふるさとのうた

剣淵文化協会俳句部会



幼児の連珠で拝む文化の日

西岡町 渋谷みさ子

もがりぶえふいん
虎落笛訃音の闇をさまよへり

仲町 玉野 研一

ひとり居の芯まで煮込む大根かな

旭町 宝澤 房子

囲い木の届かぬ冬木泰然と

元町 杉山 繁良

パッチワーク彩り映えて文化祭

南桜町 宮腰 幸子

そそり立つ岩肌の雪山の宿

西原町 児玉久美子

才た開けしひとのえくぼや文化の日

緑町 池田 良子

山紅葉湖うみにとけこみ茜雲

元町 竹内スミエ

白鳥の声の残りし空仰ぐ

仲町 梅基 文子

七五三お転婆娘澄まし顔

旭町 大河 博子

子を思い子は親案じ雪予報

旭町 大河内清枝

わずかだけ傾むき干さる大根かな

西町 杉浦とし枝

ほくほくと冬至かぼちやの煮上がりぬ

藤本町 鈴木ゆき子

遠くより子を呼ぶ声や秋の山

西町 高井 孝子

錦木の忽ち雪に埋れけり

東町 高草木喜代子

雪の舞うホルン吹く音の終り告げ

西岡町 高瀬久美子

小春日や幼き孫の留守電話

東町 高橋世津子

小春日に足を延ばして友の家

西町 文梨 清子

約束の旅は永久とわなり冬に入る

西町 金澤 頼子

雲を追う雲のありけり初霰はつあられ

元町 印牧 安子

秋忙せわし手間人情の回顧かいこかな

緑町 齋藤 嘉子

浄土へと旅立つ友や雪の朝

仲町 坂部 和子

文化展個性特技の集大成

屯田町 古屋 克江

冬支度終へて安堵の茶の香り

元町 西崎 弘子

二番線すすき野に揺れ客送る

旭町 大河 茂

反りの癖の髪にまつわる冬埃

仲町 芳賀 星子



『もみの木のねがい』

エステル・ブライヤー/ジャンイ・リコル/再話
おびか ゆうこ/訳
こみね ゆら/絵

もみの木はちくちくとがった葉っぱが嫌いで泣いていると、妖精が現れて、やわらかい葉っぱにかえてもらいます。するとヤギが来て葉っぱをすべて食べてしまいます。次にもみの木は、銀や金の葉っぱにかえてもらいますが・・・クリスマスの心温まるおはなしです。



information 絵本の館から

新着図書

今月のおすすめ絵本

- ・『フラダン』
(古内一絵 著)
- ・『きみの声を聞かせて』
(小手鞠るい 著)
- ・『ぼくが消えないうちに』
(A. F. ハロルド 著) ほか



『これはすいへいせん』

谷川 俊太郎/文
tupera tupera/絵
(金の星社)

ことばがつながるたのしい“つみあげうた”えほんです。

最初は一文から始まりますが、言葉が、どんどんつみあがって物語ができていきます。声に出して読んでみましょう。